

会議録

会議の名称	第9回 西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成27年2月12日(木) 午後6時30分～8時15分
開催場所	西東京市役所 田無庁舎 5階503会議室
出席者	委員：9名 伊村委員(委員長)、笹沼委員(副委員長)、工藤委員、鶴野委員、井手委員、岡村委員、栗山委員、幸内委員、土方委員 事務局：生活文化スポーツ部長、協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係2名 オブザーバー：高齢者支援課係長
傍聴者	1名
報告事項	(1) (仮称)地域協議体南部モデル地区会議について 1 第3回(11月11日) 2 第4回(12月10日) (2) 自治会・町内会等活性化補助金申請状況について (3) 「地域いーな通信 第9号」について
議題	(1) (仮称) 地域協議体南部地区会議の平成27年度設立について (2) (仮称) 地域協議体の名称について
その他	(1) 各委員より(感想、今後の要望等) (2) 部長よりの挨拶
会議資料の名称	[資料1-1] 第3回(仮称)地域協議体南部モデル地区会議 学習会・調布市視察 要点記録 [資料1-2] 調布市石原小学校地区協議会 会則 [資料2-1] H26年度第4回(仮称)地域協議体 南部モデル地区会議 要点記録 [資料2-2] H26年度第4回南部モデル地区会議コメント・シートのアンケート結果 [資料2-3] H26年度第4回南部モデル地区会議コメント・シートのコメント一覧 [資料3] 自治会・町内会等活性化補助金について [資料4] 地域いーな通信 第9号 [資料5-1] (仮称)地域協議体南部地区会議設立までのスケジュール(案) [資料5-2] (仮称)地域協議体設立の今後のスケジュール(案) [資料4] (仮称)地域協議体の名称について その他 第8回西東京市地域コミュニティ検討委員会会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開会	委員長： 平成26年度第9回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。

2 報告事項

事務局：

本日の委員会の資料の確認をさせていただく。(会議資料の確認)

委員長：

それでは、本日の議題の確認をさせていただく。(報告事項と議題の確認)

報告事項 (1) (仮称)地域協議体南部モデル地区会議について

委員長：

2 報告事項 (1) (仮称)地域協議体南部モデル地区会議 ①第 3 回 ②第 4 回について、事務局から説明願いたい。

事務局：

(仮称)地域協議体南部モデル地区会議について説明

委員長：

この 2 回の会議にご参加された委員の方からも、コメントをいただきたいと思う。

○ 委員：

参加してみて、調布市の協議会は活動目的を絞っていたので、大変面白くわかりやすかった。

いろいろなコミュニティが参加しているのでどう整理するのか、協議体の規模が大きいことに対しての心配等の意見が出ていた。

○委員長：

規模については、小さくすると設立不可能になってしまう危惧があったので、まずは大きい地域で設立し、小さい地域でも開催できる力量になっていければ良いという考えだった。

協議体の大きな目的の 1 つに、地域住民に沢山投げているボールを整理していくということもある。

○委員：

第 4 回目では、地域の大きさと、どのようなものにしたいのか、という議論がなされた。

早くリーダーを決めて、進めていかなければならないと感じた。

○委員：

PTA 等と同じで農協女性部にも、若い女性方は組織に入って来ない。地域のどの組織も同じ状況だと思う。

○委員長：

地域に合ったイベントメニューを考え、人材が集まる仕組みを考えていく必要がある。

○委員長：

3回目の会議が参加人数が少なかった理由と、企業が今年度参加していなかったが理由は？

○事務局：

3回目は視察だったため、時間が遅い等の問題で若干参加団体が少なかった。昨年度参加した企業さんは今年業務多忙だったため欠席だったが、来年度以降は協力の意向がある。

報告事項(2) 自治会・町内会等活性化補助金申請状況について

委員長：

2 報告事項(2) について、事務局から説明願いたい。

事務局：

自治会・町内会等活性化補助金申請状況について説明

自治会・町内会等懇談会を3月10日に実施予定。

委員長：

事務局としては、今年度の執行率はどのようにみているか？

事務局：

7月からのPRだったわりには、申請率・執行率とも良かったという感触ではある。

来年度の申請については、今年度同様年2回実施していく予定である。

○委員：

危機管理室の市民防災組織への補助金と重複交付しているケースはないのか？

○事務局：

危機管理室の補助制度はハード部分、自治会・町内会等補助金についてはソフト部分の補助制度なので重複交付はない。また、両部署で連携してきちんとチェックもしている。

○委員：

防災訓練等をする場合も、アルファ米を食べる等の付加価値をつけると集客ができる。

○委員長：

自治会・町内会を分母にとり率にすると、4地域の申請順位はどうか？

○委員：

マンションの申請が少なかったので、あまり変動はない。

報告事項 (3) 「地域いーな通信 第 9 号」について

委員長：

2 報告事項 (3) について、事務局から説明願いたい。

事務局：

「地域いーな通信 第 9 号」について説明

○委員長：

今号に掲載の市民まっりの輪投げでは、「自治会加入しているか？」等の声かけ等をおこなったか。

○事務局：

声かけが不十分だったので、来年度はもっと PR に取り組んでいく。

議題 (1) (仮称)地域協議体南部地区会議の平成 27 年度設立について

委員長：

3 議題 (1) について、事務局から説明願いたい。

事務局：

(仮称)地域協議体南部地区会議の平成 27 年度設立について説明

委員長：

中部・北東部の自治会加入世帯数増加のため、市民まつりも努力してほしい。自治会白地地域では、既存の自治会への加入数を増やしていくことも必要ではないか。

議題 (2) (仮称)地域協議体の名称について

委員長：

3 議題 (2) について、事務局から説明願いたい。

事務局：

(仮称)地域協議体の名称について説明

事務局：

他市の名称例では、地区協議会(調布市・新宿区)、地域ネットワーク(所沢市)・地域経営会議(藤沢市)、地区経営運営委員会(横浜市泉区)等である。

委員：

誰でも参加できるような名称が良い。ニックネームをつけたりしてもよいのでは。

委員長：

横浜市のハザードマップの名称決定では、「ワイワイマップ」と決めた。皆でワイワイ話し合うという意味と、横浜市の Y をかけている名称だ。

委員長：

「団体をつなげる」というネットワーク的意味を込めた言葉にした方が良いが、当委員会で決定するのは難しい。

委員：

込めたい意味の名称に、事務局で決定してもらった方が良い。

委員長：

委員会より盛り込んでもらいたい意味を事務局に伝えて事務局で決定してもらうか、南部地域で 2 年間モデル会議で頑張ってきた南部地区会議で決定してもらうかの方法で決定してほしい。

委員長：

では、名称決定に当たり委員会として申し送りたいことがらがある方は発言をお願いしたい。

委員：

南部〇〇〇とか、〇〇〇南部で表現し、短い名称にしてほしい。

委員：

地域協議体というのも、堅苦しい。

委員：

新しくつくるので、若者にも興味をもってもらうために、あまり堅苦しい名称でない方がよいのではないか。「いこいなサロン」「地域いーな会議」とか。

委員長：

以上のご意見を参考にしながら、名称決定していただきたい。

その他

委員長：

各委員より、この 4 年間の感想やコミュニティ施策へのご要望等をお聞かせ願いたい。

委員：

仕事から若者と接する機会が多いが、若者は広く浅く知識を得たり通信機器をつかいこなしたり、若者にもパワーがあるので、うまく融合していければよいと思う。

委員：

地域福祉においても、なかなか地域交流がないので、協議体の中で皆さんの力が結集できればよいと思う。

委員：

市内の学校2校経験しているが、たった2つの地域でも地域の状況が違ふと感じた。地域がネットワークでつながって学校と密に関わっていただければ、多くの子ども達のためになる。地域協議体という試みはとても素晴らしいと思う。

○委員：

芝久保小の育成会のエリアで活動しているが、自治会等も自然に協力・交流できることが大切だ。非難訓練や防災訓練にも、普段から市民が沢山参加するよう呼び掛けていくことが大切である。

○委員：

南部地域に所属している。問題を抱えた時に、1人1人が地域の中で発信する場所が大事だと思うので、地域協議体がいろいろな団体の発信の場所となると思うので、ありがたい。

○委員：

自治体が地域の最小単位で発信場所の1つだとは思う。しかし、今から自治体を立ち上げることは、この時代はかなり厳しい。自治会という組織でなくても、隣の横のつながりであればよいのでは。既存ネットワークの整理をしなければ大変厳しい。南部モデル地区会議は結構面白かった。

○委員：

地域の中で、お母さんたちも個々の生活に多忙な時代だ。組織を作るのは簡単だが、機能させていくことは、大変難しく時間がかかるであろう。

○委員：

地域のいろいろな方が集まり、情報を共有したり発信したりする場は必要である。いろいろな団体との連携・協力が「地域防災力」にも寄与する。今後とも協力していきたい。

○委員：

4年間にわたり、委員の皆様には忌憚ないご意見を頂戴し、委員会運営にいろいろとご協力いただき、本当にありがとうございました。

部長：

市よりの感謝のことば

以上